

# 「いらっしやいませ〜」

作成日:令和4年6月16日

対象児:ばら組1歳児

作成者:井川愛莉

ねらい:自分のイメージを膨らませながら、それを表現して遊ぶ。  
簡単な言葉のやりとりを楽しむ。



中に何が入っているのかな？



みんなでいただきますを言ってみよう！



おいしそう♡



葉っぱもいれてみよう！

まぜまぜ♪



のの様もお腹すいたかな〜？



熱いかな？  
ふーふしてみよう！

## ●保育の振り返り●

毎日戸外や室内でごっこ遊びをを楽しんでいるばら組さん。「ご飯できたよ!」「いらっしやいませ〜」という言葉が聞こえてくると、おままごと遊びの始まりです。4月頃は机の上を用意されたお皿に自由におもちゃのご飯を乗せて食べる真似をしていた姿から、6月に入るとお友だちや先生、ぬいぐるみの分なども用意するようになりました。お友だちの名前も覚えて「〇〇くん、〇〇ちゃん」など名前を呼んで、誘い合う姿も見られます。(協同性)戸外でも砂や土、泥、水などをコップやお皿に入れたり出したりを繰り返し遊んでいます。

戸外では見つけた葉っぱをちぎって遊ぶお友だちがいました。別の子どもがちぎった葉っぱを食べる真似をしていたお友だちを見ると、食べられるものというイメージを持ったようでアイスクップに葉っぱを乗せてアイス作りをしていました。「ご飯たべてね」とのの様象に食べさせてあげる姿も見られました。(思考力の芽生え、自然との関わり)

遊びの中でのやり取りも仕草だけでなく、言葉も増えてきたことによって、ごっこ遊びもおままごとだけでなくお医者さんごっこ、幼稚園ごっこなどさまざまなごっこ遊びが展開されるようになってきました。子ども達が自分のイメージを広げて表現できるように、保育者が仲立ちとなって関わっていきたいと思います。